

校種・教科等	高等学校国語	受審番号	氏名
--------	--------	------	----

『高等学校国語科（言語文化）』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年12月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 1年1ホーム
 (3) 学年・学級 第1学年1組(40名) 使用教科書 高等学校言語文化(数研出版)P.50～P.57

(4) 単 元 名 現代にも生きる教え 徒然草

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』などの説話集や『竹取物語』を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。また、ほとんどの生徒が中学校で序段を暗唱したり、鑑賞したりする学習を行っており、『徒然草』についての一定の理解がある。

【単元のねらい】

- ・古典に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。
- ・作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、学習に意欲的に取り組み、家庭学習の習慣も一定身に付いている生徒たちである。活発な意見交換もできるが、古典を苦手としている生徒もいる学級である。

(6) 指導計画(全5時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	○随筆の特徴と『徒然草』の文学史的意義や作者の概略について、理解する。 【「つれづれなるままに」(P.50)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間)	【「神無月のころ」(P.51～P.52)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第三次 (1時間)	【「ある人、弓射ることを習ふに」(P.52～P.53)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第四次 (1時間)	【「丹波に出雲といふ所あり」(P.54～P.55)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第五次 (1時間)	○『徒然草』の中から、自分にとって納得できる意見を探し、具体的な事例と関連づけて発表し合うことで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	一斉 個別 グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	高等学校国語	受審番号	氏名	
--------	--------	------	----	--

『高等学校国語科（言語文化）』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年12月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 1年1ホーム
 (3) 学年・学級 第1学年1組(40名) 使用教科書 高等学校言語文化(数研出版)P.50~P.57

(4) 単 元 名 現代にも生きる教え 徒然草

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』などの説話集や『竹取物語』を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。また、ほとんどの生徒が中学校で序段を暗唱したり、鑑賞したりする学習を行っており、『徒然草』についての一定の理解がある。

【単元のねらい】

- ・古典に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。
- ・作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、学習に意欲的に取り組み、家庭学習の習慣も一定身に付いている生徒たちである。活発な意見交換もできるが、古典を苦手としている生徒もいる学級である。

(6) 指導計画(全5時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	○随筆の特徴と『徒然草』の文学史的意義や作者の概略について、理解する。 【「つれづれなるままに」(P.50)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間)	【「神無月のころ」(P.51~P.52)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第三次 (1時間)	【「ある人、弓射ることを習ふに」(P.52~P.53)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第四次 (1時間)	【「丹波に出雲といふ所あり」(P.54~P.55)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第五次 (1時間)	○『徒然草』の中から、自分にとって納得できる意見を探し、具体的な事例と関連づけて発表し合うことで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	一斉 個別 グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度

用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	高等学校国語	受審番号	氏名	
--------	--------	------	----	--

『高等学校国語科（言語文化）』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年12月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 1年1ホーム
 (3) 学年・学級 第1学年1組(40名) 使用教科書 高等学校言語文化(数研出版)P.50~P.57

(4) 単 元 名 現代にも生きる教え 徒然草

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』などの説話集や『竹取物語』を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。また、ほとんどの生徒が中学校で序段を暗唱したり、鑑賞したりする学習を行っており、『徒然草』についての一定の理解がある。

【単元のねらい】

- ・古典に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。
- ・作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、学習に意欲的に取り組み、家庭学習の習慣も一定身に付いている生徒たちである。活発な意見交換もできるが、古典を苦手としている生徒もいる学級である。

(6) 指導計画(全5時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	○随筆の特徴と『徒然草』の文学史的意義や作者の概略について、理解する。 【「つれづれなるままに」(P.50)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間)	【「神無月のころ」(P.51~P.52)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第三次 (1時間)	【「ある人、弓射ることを習ふに」(P.52~P.53)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第四次 (1時間)	【「丹波に出雲といふ所あり」(P.54~P.55)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○古文の表現に慣れ、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、叙述を基に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第五次 (1時間)	○『徒然草』の中から、自分にとって納得できる意見を探し、具体的な事例と関連づけて発表し合うことで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	一斉 個別 グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度

用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。